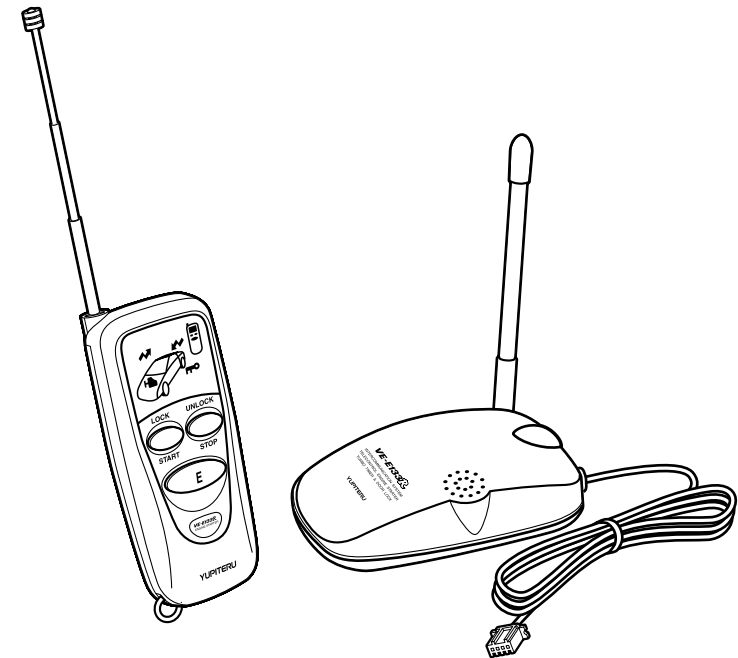


“双方向”テレコントロールエンジンスターター

VE-E133R

取扱説明書 / 保証書



このたびは、ユピテルのテレコントロールエンジンスターターをお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。なお、お読みになられたあとも、いつでも見られる場所に大切に保管してください。
また本機は、電波法第四条「技術基準適合証明を受けた無線局」および電波法施行規則第六条「特定小電力無線局」に該当するテレコントロールシステムです。

目次

はじめに	主な特長 ----- 2 多彩なオプション ----- 3 ご使用前に(安全上のご注意) --- 4 セット内容 ----- 6 各部の名称 ----- 7 基本接続図 ----- 8 通信について ----- 9 電池の入れかた(交換のしかた) --- 9
設定する	セル時間の設定 ----- 10 アイドリング時間の設定 ----- 11 グロー時間の設定 ----- 12 エンジンスターターの設定 ----- 12
操作する	エンジンを始動させる ----- 13 エンジンを停止させる ----- 14 エンジンの状態を確認する ----- 14 ドアをロック/アンロックする (オプション対応) ----- 15 車への乗車 ----- 17 リモコンの追加 ----- 18 ターボタイマー機能 ----- 19
その他	バッテリー交換や本機の 付け替え時の再設定について ---- 20 スリープ機能について ----- 22 安全機能について ----- 22 こんなときは ----- 23 エラー音について ----- 24 仕様 ----- 25 アフターサービスについて ----- 26 保証書 ----- 裏表紙



警告

取り付けには、専門知識が必要です。

取り付けは、お買い上げの販売店、またはカーディーラーにご依頼ください。
お客様ご自身で取り付けられた場合の保証は受けられません。

■取り付け可能な車

- ・適応する車種別専用ハーネスの設定がある車
- ・オートマチック(AT)車
- ・キーの操作だけでエンジンを始動できる車
- ・12V車で、⊖アースの車

※上記の4つの条件を満たす車以外ではお使いいただけません。

- ・マニュアル(MT)車・外国車には取り付けできません。

主な特長

リモコン

■光る…絵文字

通信状態、エンジンの状態を絵文字(各マーク：緑・赤の2色)でお知らせします。
リモコンによる電波の送信・受信、エンジンの始動・停止、ドアのロック/アンロック(オプション対応)を、リモコンの各マーク(状態に応じて緑と赤の2色に点滅・点灯)でお知らせします。

■鳴る…ドレミ音

通信状態とエンジン始動を音階ブザーでお知らせします。
リモコンの各マークの点灯と、音階ブザーを鳴らし分け、通信とエンジンの始動を確実にお知らせします。

- エンジン始動操作時
……送信OK『ドレミファソ』、通信OK『ソファミレド』、エンジン始動OK『ドレミファソファミレド』
- エンジン停止操作時
……送信OK『ドレミファソ』、停止指示OK『ソファミレド』

■かかる…エンジン

最新の通信技術により、他の電波による影響を低減。
確実な信号伝達により、電波到達距離(直線見通し)最大3000mを実現し、アンサーバック信号も確実にリモコンに伝えます。

- 電波到達距離市街地／住宅地(見通し)
……約300～1,000m
- 妨害電波の少ない河川道路(見通し)
……2,000～3,000m(当社測定)

※電波の届く距離は、地形・建物などの条件で変化します。

■わかる…車の状態

車のエンジンの状態を手元のリモコンで確認できます。

- アイドリング・アフターアイドリング中
……エンジンマークが緑色に点灯。
- エンジン停止中
……エンジンマークが赤色に点灯。

■ロングライフ

1日10回使用で約1年間使用できます。

アンテナユニット

■セル時間設定

車にあわせて、セルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。

■アイドリング時間設定

季節、気候にあわせてアイドリング時間を、10～30分の間で5分単位の設定ができます。

■グロー時間設定

ガソリン車、ディーゼル車を問わず、最適なエンジン始動を行えるように、グロー時間を2.0秒、3.0秒、5.0秒、7.0秒、10.0秒(5段階)から設定できます。

※7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

■ターボタイマー機能

走行時間にあわせてアフターアイドリング(30秒～3分)を自動的に行うことができます。

■威嚇機能

待ち受け時のモニターLEDの点滅により、車上荒らしやいたずらなどに対して、威嚇効果が期待できます。

※威嚇機能はON/OFFできます。

多彩なオプション

■キーレスエントリー

(別売のA-17SF：キーレスエントリーを接続した場合のみ)
本機リモコンでドアロック/アンロックができます。

※車種ごとにコントロールが異なるため、使用できない場合があります。
また、別売のアダプターやドアロックハーネスが必要になる場合があります。

■ドア検出

(別売のA-60を使用して、ドアスイッチに接続した場合のみ)
エンジンスターター動作中にドアを開くと、エンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)
また、ドアが開いた状態でドアロック操作をした場合、リモコンの受信マークが赤く点滅し、『ピー』と鳴って、ドアが開いていることをお知らせします。

■コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用して、コンライト信号線に接続した場合のみ)
オートライト機能搭載車での使用時に、オートライト設定中でもアイドリング終了後にライトを消灯させバッテリーあがりを防ぎます。
※一部の車輌において、コンライトキャンセル機能が正常に働かない場合があります。

■ハザードアンサーバック機能

(別売のA-18SF：ハザード制御を接続した場合のみ)
別売 ハザード制御：A-18SFを接続し、本機リモコン操作でエンジンを始動すると、エンジン始動検出完了後(リモコン操作後最大20秒以内)にハザードランプを3回点滅してエンジンの始動をお知らせします。また、本機によるエンジン始動中にも、リモコン操作によりアイドリング状態の確認(3回点滅)ができます。さらに、別売 キーレスエントリー：A-17SFまたは弊社オートキーレスシステム接続車では、リモコン操作またはオートキーレス機能によるドアロック/アンロック時に、ハザードランプを1回/2回点滅してドアの施錠・解錠をお知らせします。

■追加リモコン(別売：A-110E)

付属のリモコンのほかにもう一つリモコンを追加することができます。なお、付属のリモコンが紛失または破損してしまった場合も追加リモコンをご使用いただけます。

※追加リモコンの登録時に付属のリモコンも登録する必要があります。
付属のリモコンを登録しないと付属のリモコンはご使用になれません。

■無線イモビライザー

(別売のA-23SF：無線イモビライザーを接続した場合のみ)
本機リモコンでドアロック操作(別売 キーレスエントリーの接続がない場合でも、イモビライザー機能は動作します)をすると、約15秒後から、車のキーではエンジンをかけられないようにできます。
本機リモコンでドアアンロック操作をすると、無線イモビライザー機能は解除されます。
別売 キーレスエントリーを併用すると、本機リモコンでドアロック時にイモビライザー機能が働きます。

■メモ

- 無線イモビライザー機能は、スリープ機能が働いた場合でも維持されます。
※スリープ機能が働いた状態(無線イモビライザーを取り付けている場合)からエンジンを始動するときはスリープ機能を解除(車のキーでドアを開け、キーをACCにする)した後、無線イモビライザー機能を解除(リモコン操作でドアアンロックにする)してください。
- イモビライザー機能設定中でも、エンジンスターターでエンジンを始動し、アイドリングをさせることができます。

■イモビ対応アダプター

(別売のイモビ対応アダプターを接続した場合のみ)
車輌純正のイモビライザー装着車に本機を取り付けるためのアダプターです。
本機取り付けにより、車輌のイモビライザー機能を損なうことはありません。
※エンジンスターターでの始動を除いて、車輌純正のイモビライザー機能は正常に動作します。

■オートキーレスシステム

(別売の弊社オートキーレスシステムを接続した場合のみ)
オートキーレスシステムのリモコンを所持しているだけで、“車に近づくとアンロック”、“車から離れるとロック”を自動で行う、一歩進んだキーレスエントリーです。

ご使用の前に(安全上のご注意)

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。また、注意事項は危害や損害の大きさを明確にするために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」、「注意」の2つに分けています。

警告：警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡や重傷を負う可能性があります。

注意：注意を無視した取り扱いをすると、使用者が傷害や物的損害をこうむる可能性があります。

絵表示について

- △ 記号は注意を促す内容であることを告げるものです。
- ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。
- 記号は行為を強制したり、指示を告げるものです。

警告

- シフトレバーは必ずパーキング(P)の位置で、パーキングブレーキをかけた状態で使用する…思わぬ事故の原因になり大変危険です。
- 車の近くに燃えやすいものがある場所では、使用しない…発火の恐れがあります。
- 車のボディカバーをかけたまま使用しない…発火や排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- お子様などを車に乗せたままでは、絶対に使用しない…室内はキーでエンジンを始動した場合と同じ状態になり、大変危険です。
- リモコンはお子様の手の届かない場所に保管する…お子様が勝手にエンジンを始動させてしまい、事故の原因となります。
- 換気の悪い車庫や屋内では、使用しない…排気ガスによる中毒の恐れがあります。
- マフラーが雪で覆われるような降雪時には使用しない…排気ガスが車内に充満して大変危険です。
- 必ずボンネットが閉まっている状態で使用する…エンジン部の作業中にエンジンが始動すると、大変危険です。
- 暖気運転の直後にエンジン点検などを行わない…火傷をする恐れがあります。エンジン停止後、少なくとも5分以上経過した後、十分注意して行ってください。
- 煙がでている、変な臭いがするなど、異常な状態のまま使用しない…発火の恐れがあります。すぐに使用を中止して、販売店に修理を依頼してください。
- 万一、破損した場合は、すぐに使用を中止する…そのまま使用すると火災や感電、事故の原因となります。
- サービスマン以外の人は、絶対に機器本体および付属品を分解したり、修理しない…感電や故障の原因となります。内部の点検や調整、修理は販売店にご依頼ください。

- 思わぬ事故を防ぐために、次のような場合は、リモコンの電池を抜いておく、もしくはアンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットから外してください。
 - ボンネットを開けるとき
 - 整備や車検などで車を第三者に預けるとき
 - 本機の使用方法を理解されていないかたが運転するとき
 - 長期間、車を使用しないとき
 - 万一、リモコンを紛失したとき
- 走行するときは、いったん本機でエンジンを停止させ、必ずキーで再始動する
本機でエンジンを始動させた状態では走行できません。エンジンが作動している状態でのキーの誤操作はセルの再飛び込みなど車を傷める危険があるばかりでなく、思わぬエンジンの停止や、ハンドルロック未解除のままの発進など、車の安全装置が働かないまま動き出すなどの事態をまねく危険性があります。
- エンジンスターター始動中はシフトロック解除機能等による通常の運行操作以外でシフト操作をしない…エンジンスターターの安全機能が働かず、思わぬ事故につながる場合があります。
- 車輦の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用する
- むやみに操作ボタンを押さない…リモコンの電波は周辺環境により、思わぬ遠方まで届く場合があります
- あらかじめ駐車時には以下のことを守る
 - ワイパー、ラジオ(オートアンテナ車の場合)を切ってください。エンジン始動を行ったときに動きだすので危険です。
 - また凍結した場合、モーターが損傷する恐れがあります。
 - 全ての窓を閉めてください。
 - 全てのドアを施錠(ロック状態)してください。
 - 坂道や傾斜地でご使用になるときや、冬期でパーキングブレーキを解除して使用するときは、必ず輪止めをしてください。

公道上で、エンジンをかけたまま車を放置することは、道路交通法違反となります。必ず私有地で使用してください。



本機を取り付けたことによる、車輦や車載品の故障、事故等の付随的障害については、一切その責任を負いません。

ご注意 電波法に関して

- リモコン、アンテナユニット裏の技術基準適合証明ラベルをはがさないでください。はがして使用すると、電波法により罰せられることがあります。
- 海外では使用しないでください。
- 分解したり改造することは、電波法で禁止されています。改造して使用した場合は、電波法により罰せられることがあります。

ご注意 本機の機能について

- コンライトキャンセル機能を配線していない場合
オートライトコントロールシステムやコンライトシステム搭載車*で、夜間に本機を使用するときは、ライトスイッチを「OFF」にしておいてください。「AUTO」の状態では本機によりエンジン始動をした場合、ライトが点灯して、エンジンが停止したあとも消灯しません。
※暗くなると自動的にライトが点灯するシステム。エンジンが停止したあと、降車のためにドアを開閉することでライトが消灯します。
- 他の無線機やテレビ、ラジオ、パソコンなどの近くで使用すると、影響を与えたり、受けたりすることがあります。
 - カーナビゲーションや、ラジオ、オーディオなどを搭載した車では、バッテリーのマイナス端子をはずすと、メモリーの内容が消えてしまうことがあります。端子をはずす前に、必ずメモリー内容を控えてください。
 - 市販のターボタイマーと併用することはできません。
 - オートクルーズシステム搭載車や電動チルトステアリング・マイコンプリセットのドライビングポジションシステム装備車では、まれにこれらの機能が正常に動作しなくなることがあります。
 - ワイヤレスドアロックシステムやキーレスエントリーシステム装備車では、エンジンが始動しているときドアのロック/アンロックができないことがあります。このようなときは、キーで操作してください。
 - ターボタイマー機能は、ご使用になる車輦により、まれに正常に働かないことがあります。
 - イグニッションキースイッチのバラツキが大きく、エンジンスターターで始動したときセルがホールドする車輦では使用できません。

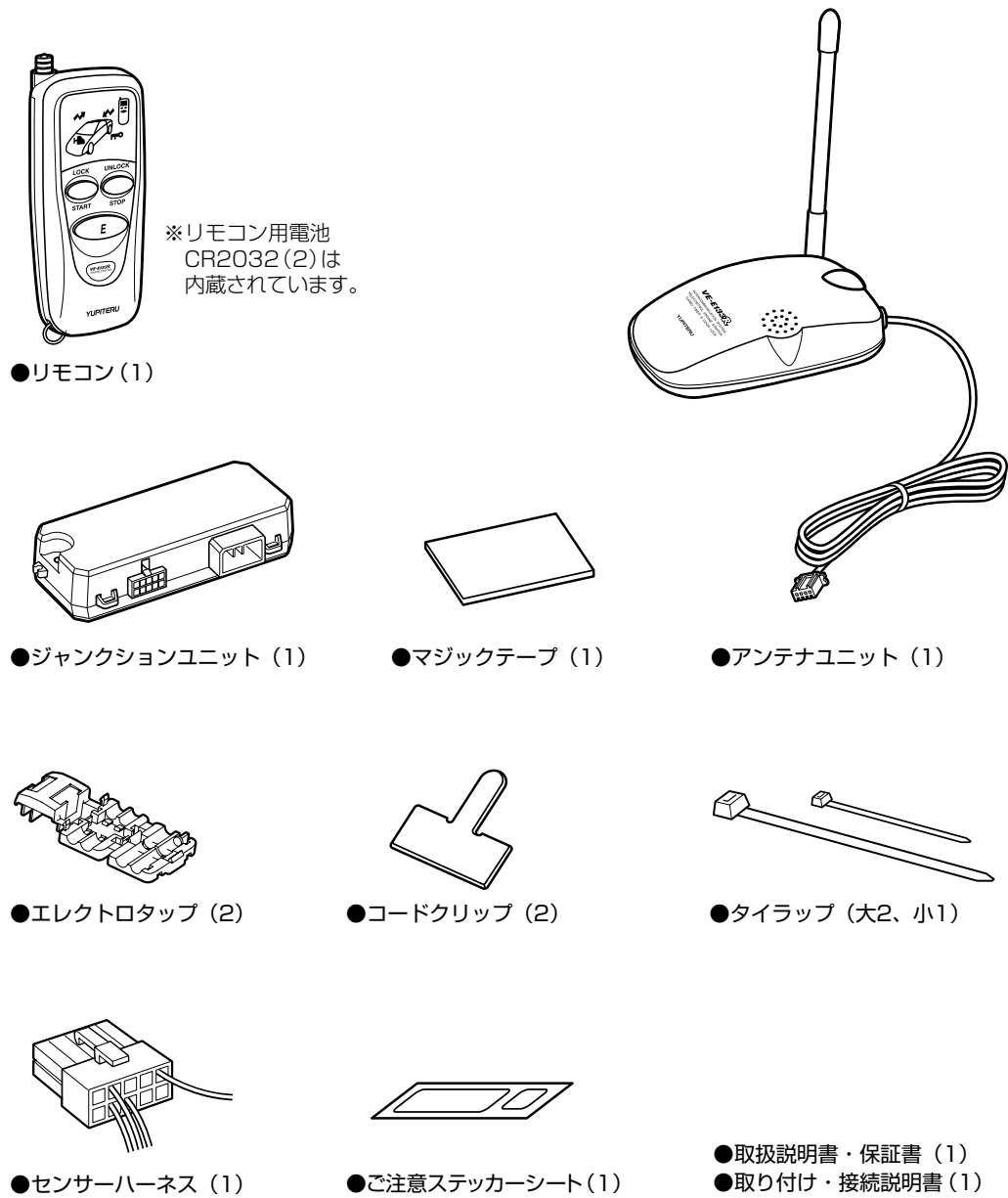
ご注意 取り扱いについて

- リモコンを持ち歩くときには、落下などの衝撃を与えないでください。
- リモコンは簡易防滴構造ですが、濡れた手でさわったり、雨水などで濡れたりしないようにしてください。
- リモコンは、お子様の手の届かない場所に保管してください。
- リモコンを次のような場所に放置しないでください。
 - 暖房器具の近くやダッシュボードの上など、温度の高くなる場所。
 - 湿度の高い場所や、風通しの悪い場所。
 - ホコリや油煙の多い場所。
 - 非常に温度の低い場所。
- リモコンのアンテナに強い力がかかるような取り扱いはしないでください。
- リモコンが汚れたときは、柔らかい布でふいてください。ポリエステルなど静電気の起きやすいもの、またベンジンやシンナー、化学ぞうきん、洗剤は使用しないでください。

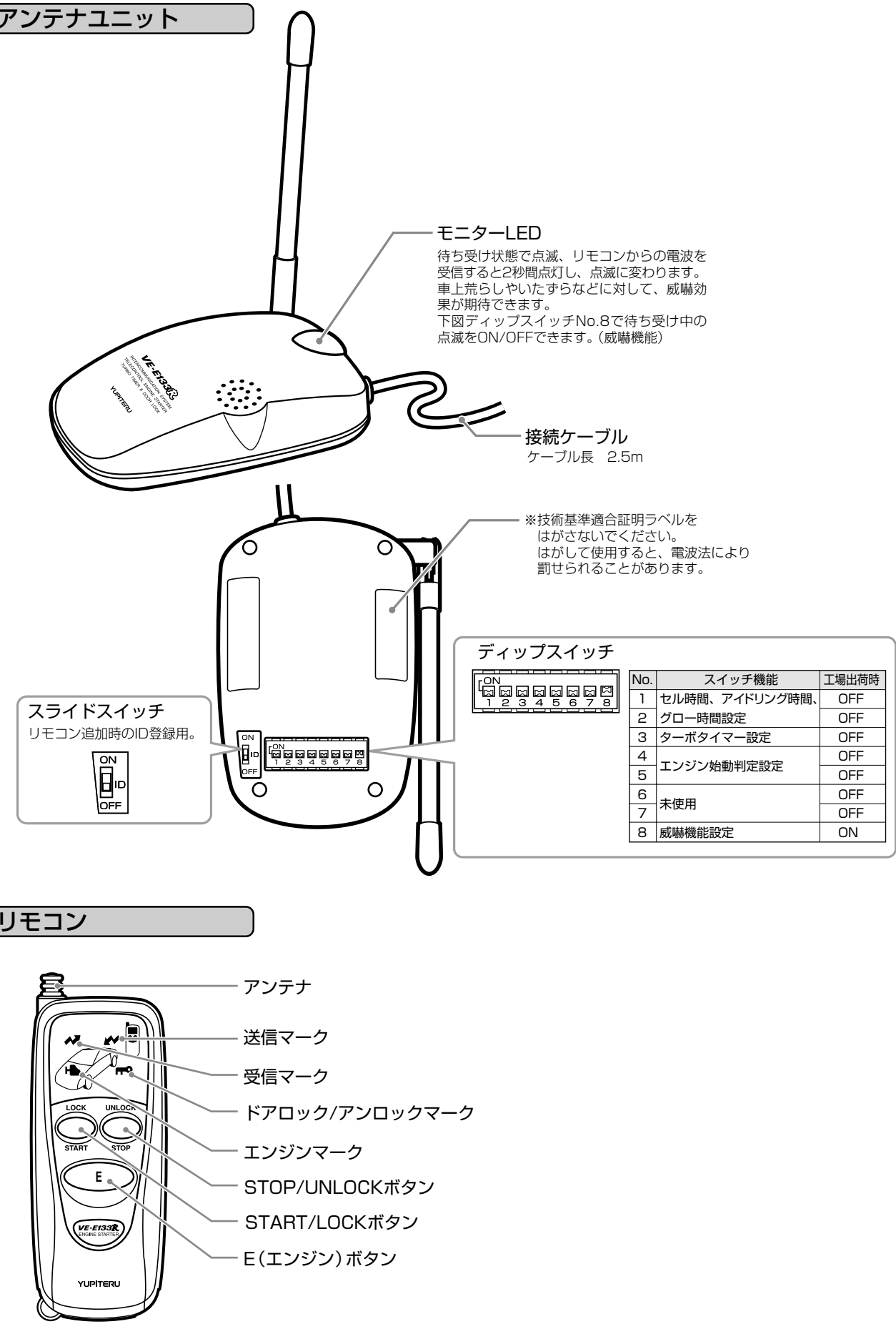


セット内容

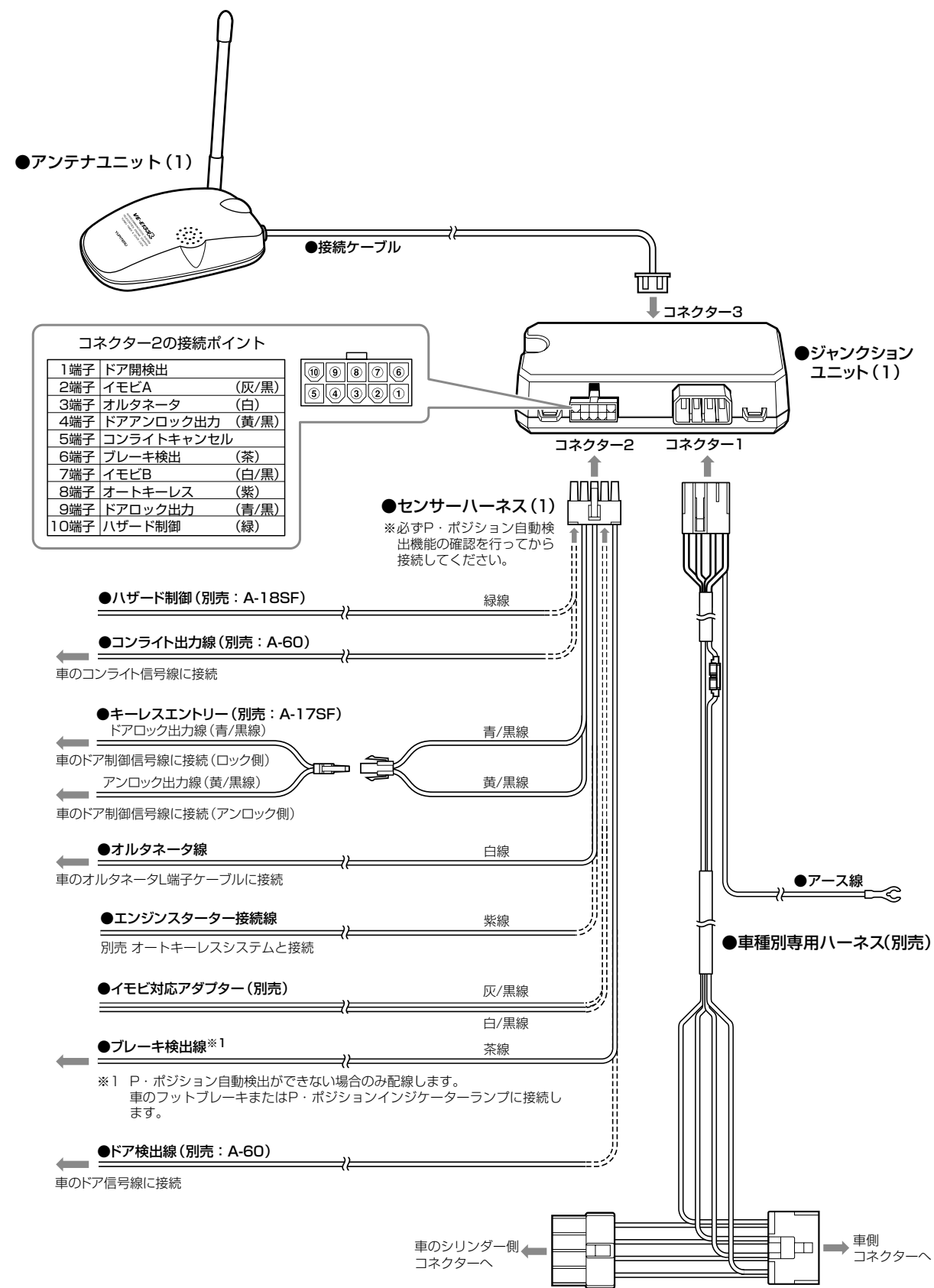
接続前に、セットの内容をお確かめください。



各部の名称



基本接続図

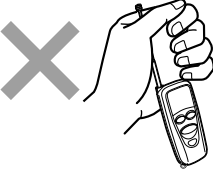


通信について

リモコンの上手な使いかた

リモコンを操作するときは、安定した通信距離を確保するために、次のことを守ってください。

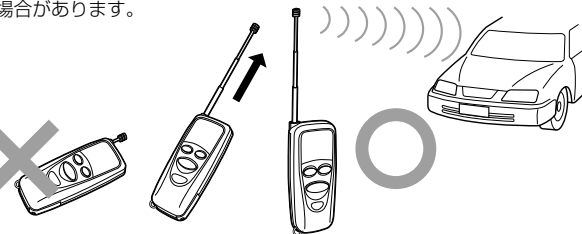
■リモコンのアンテナを手で覆わないでください。
※通信距離が短くなります。



■アンサーバック信号を受信するまではアンテナを収納しないでください。
アンテナを収納すると、正常にアンサーバック信号を受信できません。

■リモコンのアンテナは完全に引き出し、垂直に立てて操作してください。

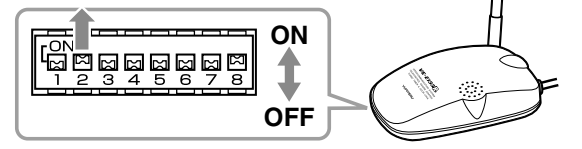
※斜めにして操作すると、通信距離が短くなることがあります。
※チェーンやカギ、金属性アクセサリなどにより通信エラーが発生する場合があります。



電池の入れかた(交換のしかた)

電池交換中のエンジン始動を防ぐため、車に取り付けられているアンテナユニットのディップスイッチNo.2をON(アイドリング時間設定)にしてください。使用するときはディップスイッチをNo.2をOFFに戻してからご使用ください。

※内蔵の電池はモニター用です。モニター用の電池は、記載された電池寿命より短い期間で切れることがあります。



電池の交換時期について
リモコン操作できる距離が短くなったら、電池寿命です。早めに新しい電池と交換してください。

電池寿命の目安
約1年を目安に新しい電池 (CR2032 2個)と交換してください。
※電池の寿命は使用する条件によって異なります。
※指定の電池 (CR2032) 以外は使用しないでください。
※交換するときは、必ず2つとも新しい電池と取り替えてください。
また、交換時には電池の向きを間違えないようご注意ください。

警告

使用済みの電池は、火中に投げ入れないでください。爆発して、火災・やけどの原因となることがあります。また、事故防止のため、リモコンの電池は幼児の手の届かないところに保管してください。万一お子様が飲み込んだ場合は、直ちに医師に相談してください。

アンテナユニットの取り付け

アンテナユニットは、ダッシュボードに、付属のマジックテープを使用して、運転者の視界を妨げないように取り付けてください。

ご注意
アンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。

メモ
通信距離を広げたい場合は、アンテナユニットのアンテナを地面に対してできるだけ垂直に立ててください。(アンテナが車体に触れないようにしてください)また、アンテナとリモコンの間に障害物ができるだけ少なくなるような方向に車を停車してください。

1 リモコン側面のネジをはずし、電池ケースを引き出す

電池ケース

ネジ

※ネジ、部品の紛失に注意してください。また、ネジの大きさに合ったドライバーを使用してください。ネジのつぶれの原因となります。

2 電池の⊕側どうしを合わせて電池ホルダーにセットする

電池

※電池ケースのネジ以外は触れないでください。
本機を分解したり改造することは、電波法で禁止されています。

3 電池ケースを戻し、ネジを閉める

セル時間の設定

※設定には専門知識が必要です。不必要な設定は車輛の破損につながりますので、十分ご注意ください。

車に合わせて、リモコンでセルモータの始動時間を0.5秒、0.7秒、1.0秒、1.5秒、2.0秒、3.0秒、5.0秒(7段階)の設定ができます。セルモータのひきずりがある場合にはセル時間を短めに、エンジンが始動しにくい場合は長めに設定してください。設定には十分ご注意ください。(工場出荷時には1.0秒に設定されています)

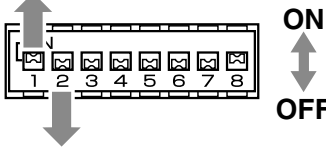
※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。
※オルタネータ線(白線)を接続している場合、セル時間内にエンジンの始動検出ができると、セルモータを停止します。

セル時間を延長する

セル時間を短縮する

1

アンテナユニットの裏のディップスイッチNo.1をON、No.2をOFFにする



『ピー』と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅して、設定モードに入ったことをお知らせします。

2

リモコンのSTART/LOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度START/LOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。



一段階セル時間の設定が延長され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに延長する場合は上記操作を繰り返してください。

2

リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度STOP/UNLOCKボタンを押す

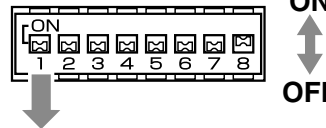
※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアアンロック操作と同じように動作しますが、ドアのアンロックはされません。



一段階セル時間の設定が短縮され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに短縮する場合は上記操作を繰り返してください。

3

アンテナユニットの裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



『ビビッ』と鳴り、セル時間設定を終了します。

■セル時間とブザー音

0.5秒	ビッ
0.7秒	ビビッ
1.0秒	ビビビッ
1.5秒	ビビビビッ
2.0秒	ビー
3.0秒	ビービッ
5.0秒	ビービビッ

アイドリング時間の設定

エンジンスターターで始動した場合のアイドリング時間(10分～30分の間で、5分単位)をリモコンで設定できます。(工場出荷時には10分に設定されています)

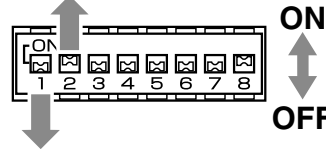
※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

アイドリング時間を延長する

アイドリング時間を短縮する

1

アンテナユニットの裏のディップスイッチNo.1をOFF、No.2をONにする



『ピーピー』と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅して、設定モードに入ったことをお知らせします。

2

リモコンのSTART/LOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度START/LOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。

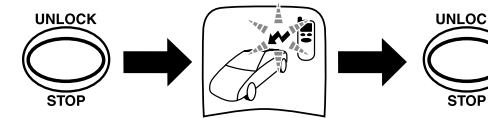


一段階アイドリング時間の設定が延長され、設定時間に
応じたブザー音が鳴ります。
さらに延長する場合は上記操作を繰り返してください。

2

リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度STOP/UNLOCKボタンを押す

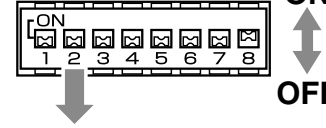
※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアアンロック操作と同じように動作しますが、ドアのアンロックはされません。



一段階アイドリング時間の設定が短縮され、設定時間に
応じたブザー音が鳴ります。
さらに短縮する場合は上記操作を繰り返してください。

3

アンテナユニットの裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



『ビビッ ビビッ』と鳴り、アイドリング時間設定を終了
します。

■アイドリング時間とブザー音

10分	ピッ
15分	ビビッ
20分	ビビビッ
25分	ビビビビッ
30分	ビー

グロー時間の設定

車に合わせて、グロー時間を2.0秒、3.0秒、5.0秒、7.0秒、10.0秒(5段階)の設定ができます。(工場出荷時には5.0秒に設定されています)

※グロー時間を7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

※設定を行う場合は、車のキーを抜いて行ってください。

グロー時間を延長する

1 アンテナユニットの裏のディップスイッチNo.1、No.2をONにする



『ピーピーピー』と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅して、設定モードに入ったことをお知らせします。

2 リモコンのSTART/LOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度START/LOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアロック操作と同じように動作しますが、ドアのロックはされません。



一段階グロー時間の設定が延長され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに延長する場合は上記操作を繰り返してください。

グロー時間を短縮する

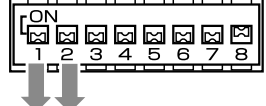
2 リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押し、送信マークが点滅中に再度STOP/UNLOCKボタンを押す

※設定中はリモコンの表示や音階ブザーがドアアンロック操作と同じように動作しますが、ドアのアンロックはされません。



一段階グロー時間の設定が短縮され、設定時間に応じたブザー音が鳴ります。
さらに短縮する場合は上記操作を繰り返してください。

3 アンテナユニットの裏のディップスイッチを元に戻す(No.1、No.2をOFF)



『ビビッ ビビッ ビビッ』と鳴り、グロー時間設定を完了します。

■グロー時間とブザー音

※グロー時間を7.0秒、10.0秒選択時はオルタネータ線の接続が必要です。

2.0秒	ピッ
3.0秒	ビピッ
5.0秒	ビビピッ
7.0秒	ビビビピッ
10.0秒	ピー

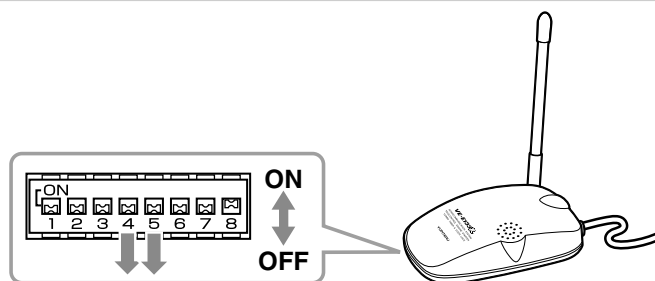
エンジンスターターの設定

エンジン始動判定の設定(設定には専門知識が必要です)

一部特殊な車両においてエンジン始動判定(ディップスイッチNo.4、5)の設定が必要となる場合がありますが、通常は設定の必要はありません。

※工場出荷時は、No.4 OFF側 No.5 OFF側に設定されています。

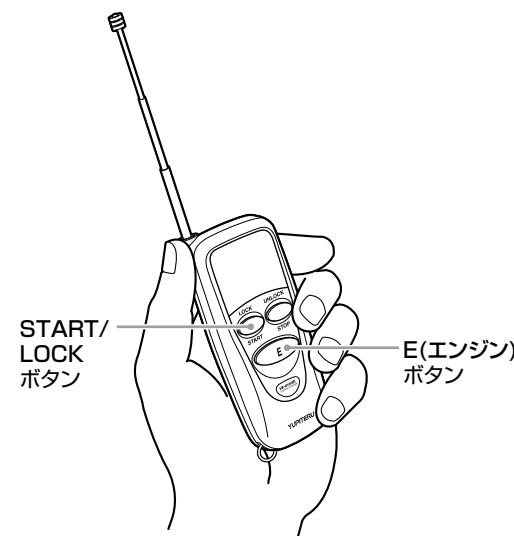
※指定車以外で本設定を工場出荷時の設定以外に設定しないでください。
指定車以外で本設定を使用すると車輛故障につながる恐れがあります。
指定車について詳しくは、最寄の弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口(0564-45-6515)までお問い合わせください。



エンジンを始動させる

リモコンを操作するときは

- アンテナを十分に伸ばしてください。
- アンテナに手などを触れると、通信距離が短くなります。
- アンテナを収納していると、アンテナユニットからの信号を受信できません。



信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

- ハザード制御線(別売：A-18SF)を接続すると、ハザードランプが3回点滅して、エンジンが始動したことをお知らせします。
- 車のバッテリーの性能が低下しているときは、車のキーで始動させる場合に比べ、本機でのエンジン始動ができにくくなります。

エンジンが始動できないと

リモコンから『ピービビビッ』の音が鳴り、リモコンのエンジンマークが赤色に約1秒間点滅します。このようなときはもう一度、最初からリモコン操作を行ってください。
※エンジン始動エラーが発生すると、アンテナユニットから発生原因に対応したエラー音が鳴ります。

エンジンが始動しない、始動してもすぐに停止してしまう場合は、「エラー音について」(24ページ)をご覧ください。

警告

車輛の周囲の安全を十分に確認できる範囲で使用してください。リモコンの電波は、周辺環境など、条件の良いところでは遠方(3km以上)まで届くことがあります。

リモコンの操作

1 E(エンジン)ボタンを押す



送信マークが緑色に点滅します。

2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでSTART/LOCKボタンを押す



送信マークが緑色に約1秒間点灯します。

アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、受信マークが約1秒間緑色に点灯します。



※電圧状態によって送受信がすぐに行われる場合があります。その場合、『ドレミファソ』、『ソファミレド』が連続して聞こえることがあります。

約1秒後にエンジンの始動を行います。

エンジンが始動すると

20秒以内に始動確認の信号をリモコンに送ります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ドレミファソファミレド』と鳴り、エンジンマークが緑色に約1秒間点灯します。



アンテナユニットからの始動確認信号を受信できないと、『ピー』の音が鳴り、受信マークが赤色に約1秒間点滅します。このようなときは「エンジンの状態を確認する」(14ページ参照)で始動・停止をご確認ください。

エンジンが始動すると、アイドリング中は『ピッピッピッ』とアンテナユニットから連続して鳴り、エンジンスターターでエンジンを始動していることをお知らせします。

エンジンを停止させる



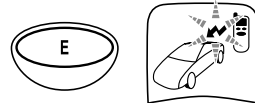
信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

リモコンの操作

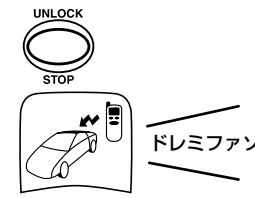
1 E(エンジン)ボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。



2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでSTOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。
威嚇機能をONに設定している、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

『ソファミレド』と鳴り、受信マークが約1秒間緑色に点灯後、エンジンマークが赤色で1秒間点滅します。



エンジンを停止させます。

エンジンの状態を確認する



信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

エンジンが停止中は

受信マークが緑色に約1秒間点灯して『ピーピピピ』と鳴り、エンジンマークが約2秒間赤色に点灯します。

※キーでエンジンを始動している場合は確認できません。

リモコンの操作

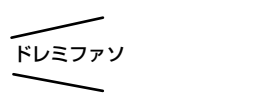
1 E(エンジン)ボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。



2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度E(エンジン)ボタンを押す

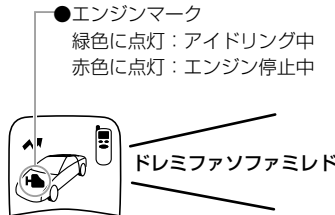
送信マークが緑色に約1秒間点灯します。



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。
威嚇機能をONに設定している、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

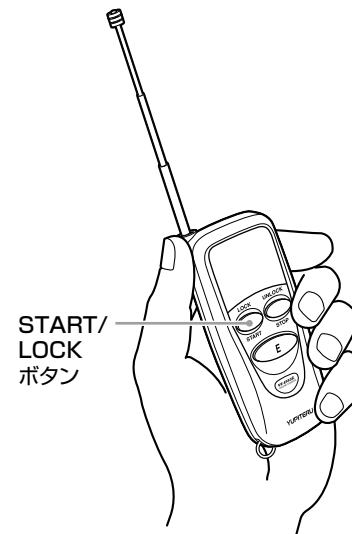
エンジンがアイドリング中は『ドレミファソファミレド』と鳴り、受信マークが緑色に約1秒間点灯してエンジンマークが約2秒間緑色に点灯します。



ドアをロック/アンロックする (オプション対応)

次ページに続く

※別売キーレスエントリー A-17SFの接続が必要です。



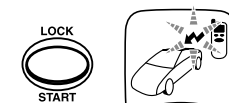
信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

ドアのロック(施錠)操作

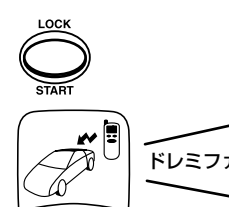
1 START/LOCKボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。



2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度START/LOCKボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。
威嚇機能をONに設定している、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信マークが緑色に約1秒間点灯し、『ソファミレド』と鳴り、ドアロック/アンロックマークが緑色に約1秒間点灯します。



ドアがロック(施錠)されます。

メモ

ハザード制御線(別売A-18SF)を接続すると、施錠と同時にハザードランプを1回点滅させることができます。
また、ドア検出線(別売：A-60)を接続して、ドアが開いている状態でドアロック操作を行うと、受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。ドアが完全に閉まっているか確認してください。



信号を受信できないと

アンテナユニットからの信号を受信できないと受信マークが赤色に約1秒間点滅し、『ピー』と鳴ります。
もう一度、最初からリモコン操作を行ってください。

メモ

ハザード制御線(別売A-18SF)を接続すると、解錠と同時にハザードランプを2回点滅させることができます。

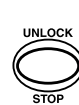
メモ

- 本機でエンジンを始動した場合や、本機のターボタイマー機能によりアイドリングしている間でもドアロック/アンロックの操作はできますが、キーでエンジンを始動したときは、ドアロック/アンロック機能は動きません。
- 本機でエンジンの始動を行った場合、始動確認信号の受信まではドアロック/アンロック機能が正常に働かないことがあります。

ドアのアンロック(解錠)操作

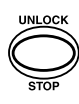
1 STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に点滅します。



2 送信マークが点滅中(約2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまでもう1度STOP/UNLOCKボタンを押す

送信マークが緑色に約1秒間点灯します。



ドレミファソ



アンテナユニットが信号を認識すると、リモコンに信号を送り返します。

威嚇機能をONに設定していると、アンテナユニットのモニターLEDが点滅から点灯(2秒間)に変わります。

アンテナユニットからの信号を受信すると

受信マークが緑色に約1秒間点灯し、『ソファミレド』と鳴り、ドアロック/アンロックマークが赤色に約1秒間点灯します。



ソファミレド



ドアがアンロック(解錠)されます。

△注意

- 車のバッテリー上がり、本機リモコンの電池切れ、または故障などの場合、リモコンでドアを開けることができなくなります。車のキーは必ず携帯してください。
- 本機のリモコンは、ダブルアクション操作により誤作動を防止していますが、純正キーレスエントリーシステムに比べ電波到達距離が長いので、リモコン操作には十分に注意してください。
- 本機は、オートリロック機能[®]を搭載していませんので、リモコンでドアロックした場合は、ドアのロック状態の確認をお願いします。
※ドアアンロック後、ドアを開けない場合、自動的にドアロック(リロック)する機能

車を発車させる

1 リモコン操作でエンジンを停止させる

※別売ドア検出線を取り付けている場合は、運転席ドアを開けると、エンジンが停止します。

2 キーでエンジンを始動させる



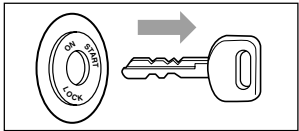
リモコンの追加

別売 追加リモコン：A-110Eを追加する場合は、右記の手順で登録を行ってください。

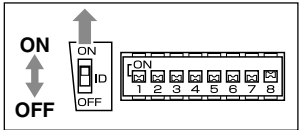
※リモコンを追加する場合、付属のリモコンのIDも書き込む必要があります。

※付属のリモコンが故障または紛失した場合は、手順 **1**～**5**までの登録を行ってください。

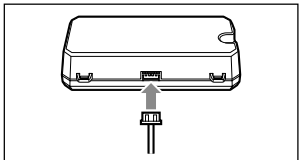
1 車のキーを抜き、車を駐車した状態にする



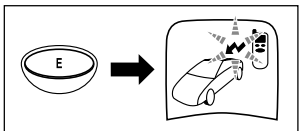
2 アンテナユニットのスライドスイッチをON(ID書き込み)にする



3 アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する。すでに接続ケーブルが接続されている場合は、一度接続ケーブルを外し、つなぎ直す



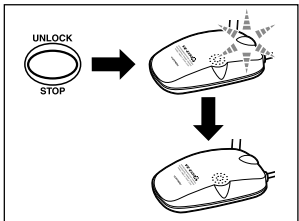
4 付属のリモコンのE(エンジン)ボタンを押す



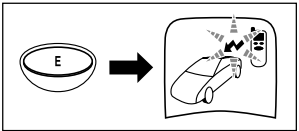
5 送信マークが点滅している間(2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで付属のリモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押す

リモコンからの信号を受信すると、アンテナユニットが「ビッ」と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅します。IDの登録が正常に行われると、アンテナユニットが3秒以内に「ピー」と鳴り、モニターLEDが消灯します。

※「ピー」と音がしない場合は項目**4**の操作からやり直してください。



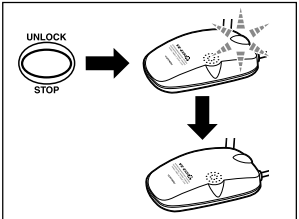
6 追加リモコンのE(エンジン)ボタンを押す



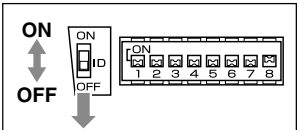
7 送信マークが点滅している間(2秒間)に、『ドレミファソ』が鳴るまで追加リモコンのSTOP/UNLOCKボタンを押す

リモコンからの信号を受信すると、アンテナユニットから「ビッ」と鳴り、アンテナユニットのモニターLEDが点滅します。IDの登録が正常に行われると、アンテナユニットが3秒以内に「ビッピー」と鳴り、モニターLEDが消灯します。

※「ビッピー」と音がしない場合は項目**6**の操作からやり直してください。



8 アンテナユニットのスライドスイッチをOFF(通常)にする



ターボタイマー機能

ターボタイマー機能とは

走行後のアフターアイドルングを自動的に行う機能です。なお、本機はこのターボタイマー機能をアンテナユニットのディップスイッチNo.3で使う(ON)使わない(OFF)を設定できます。アフターアイドルングの時間はオート方式です。

■ターボタイマー機能ON時の動作について

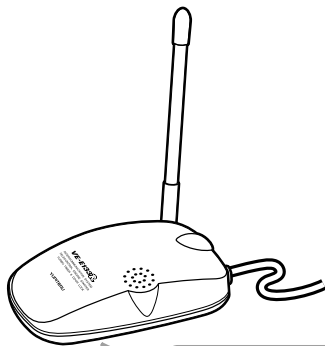
ターボエンジン搭載車は、走行後、すぐにエンジンを停止させると、タービンシャフト部の焼き付きを起こす場合があります。ターボタイマー機能はパーキング(P)またはニュートラル(N)にシフトチェンジされると動作し始め、キーを抜いた後も、アフターアイドルングを自動的に行い、エンジンを徐々に冷ましたあと、エンジンを停止させます。

※キーでエンジン始動後、シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)以外のポジションに1秒以上移動した場合にターボタイマー機能は動作します。

また、シフトレバーがパーキング(P)または、ニュートラル(N)の位置でないと動作しません。(P・ポジション自動検出)ただし、P・ポジション自動検出ができない車輛でP・ポジションインジケータランプに接続している場合は、シフトレバーがパーキング(P)の位置のときだけ動作します。シフトポジションを移動したときには動作を停止します。

ターボタイマー機能のON/OFF設定

アンテナユニットのディップスイッチNo.3を設定することで、ターボタイマー機能のON/OFF設定ができます。



ON

OFF

ON

OFF

●No.3：ターボタイマー機能の設定

- 使用する →ON
- 使用しない→OFF

※工場出荷時はOFF側に設定されています。

■オート方式のアフターアイドルング時間

走行時間に合わせて、アフターアイドルングの時間が自動的に設定されます。

走行時間	アフターアイドルング時間
0分間～10分間	約30秒間
10分間～30分間	約1分間
30分間～1時間	約1分30秒
1時間～2時間	約2分間
2時間以上	約3分間

※走行時間はIG(イグニッション)ONからの時間をカウントしています。

△注意

ご使用になる車種により、まれに正常に働かないことがあります。このようなときは、ターボタイマー機能の設定を「OFF」にしてご使用ください。

※カーラジオのON/OFFに連動してアンテナが昇降する車では、ターボタイマーが動いてエンジンが停止しても、アンテナが降りないことがあります。

△注意

車を離れるときは必ず鍵をかけ、携帯してください。車によってはエンジン始動中またはキーが差し込まれている状態でリモコンによるドアのアンロック(解錠)ができないことがあります。

メモ

- アフターアイドルング中にリモコンでのエンジン停止の操作、またはシフトチェンジを行うと、エンジンは停止します。
- キーをOFFにしてからパーキング(P)にシフトチェンジした場合、ターボタイマー機能は働きません。

バッテリー交換や本機の付け替え時の再設定について

車のバッテリー交換や本機の付け替えなどで、バッテリーや車種別専用ハーネスを取りはずした場合は、再度、P・ポジション自動検出機能の確認が必要です。
アンテナユニットから『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続している場合は、以下の手順でP・ポジション自動検出機能の確認を行ってください。(P・ポジション自動検出機能の確認をしないと、本機は動作しません)

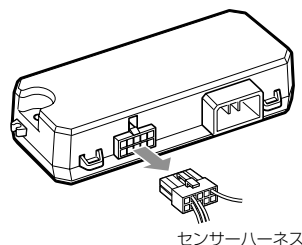
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認

接続が終わっても、ジャンクションユニットを完全に固定する前に、バッテリーのマイナス端子をつないで、それぞれの接続が正しく行われていることを確認してください。

本機はP・ポジション自動検出機能の確認をしないと、動作しません。
一部の車種では、P・ポジション自動検出できないものや、できにくいものがあります。

ご注意

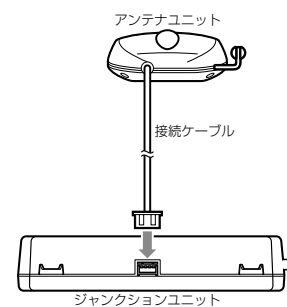
パーキング(P)・ポジション自動検出機能の確認作業は、必ず、センサーハーネスを外した状態で行ってください。(ブレーキ検出線が接続された状態では、正しく検出できません)



ご注意

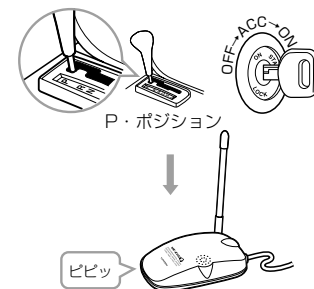
エンジンスターターの設定(10~12ページ)内容を記憶しているため取り付け車を変更した場合は再設定が必要です。

- 1 アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する
約3秒後に接続の確認を開始します。確認が終了すると『ピピピッ ピピピッ ピピピッ』という確認音が連続して鳴ります。
※確認音が鳴らない場合は、専用ハーネスのアース線の接続場所を、確認音が鳴る場所に変更してください。

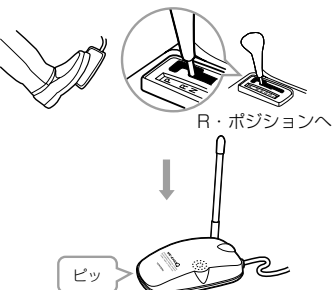


P・ポジション自動検出ができない場合は21ページをご覧ください。

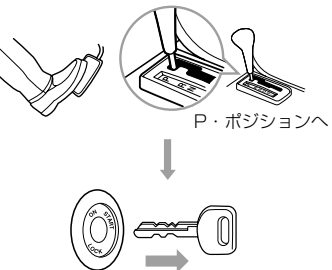
- 2 シフトレバーがパーキング(P)・ポジションになっていることを確認し、キーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える
アンテナユニットから約3秒後に『ピピッ』という音が鳴ります。



- 3 ブレーキを踏んでシフトレバーをパーキング(P)・ポジションからリバース(R)・ポジションに切り換える
アンテナユニットが約3秒後に『ピッ』と鳴ります。
P・ポジション自動検出機能を使用できることが確認できました。
※何も音がしない場合は、P・ポジション自動検出機能は使用できません。
シフトレバーをP・ポジションに戻し、キーを抜いて21ページをお読みください。



- 4 シフトレバーをパーキング(P)・ポジションに戻し、キーを抜く
アンテナユニットが約2秒後に『ピー』と鳴ります。
※何も音がしない場合は、専用ハーネスの種類とアース線の接続場所を、再度確認してください。



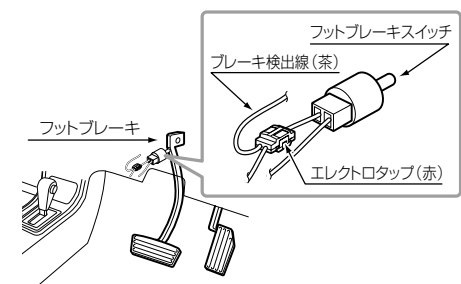
以上で初期設定は終了です。センサーハーネスを接続して必要に応じてエンジンスターター設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用しない場合の接続・設定

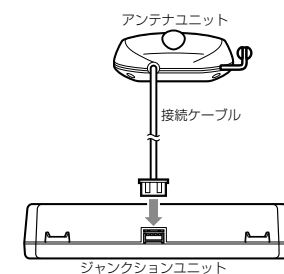
フットブレーキスイッチ配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

ブレーキペダルを踏んで12V、離して0Vまたはブレーキペダルを踏んで0V、離して12Vに電圧が変化することを確認してください

※接続先は、サーキットテスターで確認してください。



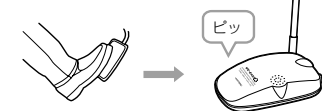
- 1 センサーハーネスを接続し、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットに接続する



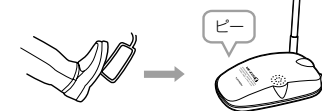
- 2 シフトレバーがP・ポジションになっていることを確認し、ブレーキペダルは踏まずにキーを差し込んで、OFF→ACC→ONと切り換える



- 3 ブレーキペダルを踏む
アンテナユニットが『ピッ』と鳴ります。



- 4 ブレーキペダルから足を離す
アンテナユニットが『ピー』と鳴ります。



以上でP・ポジション検出は終了です。途中で確認音が鳴らない場合は車種別専用ハーネス、アース線の接続を確認してください。

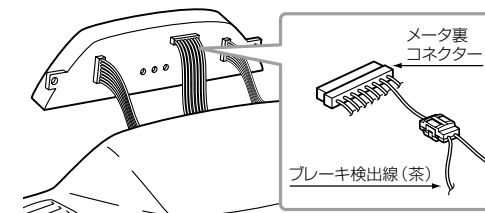
以上で初期設定は終了です。必要に応じてエンジンスターター設定を行ってください。

P・ポジション自動検出機能が使用できない状態でターボタイマー機能を使用する場合の接続・設定

P・ポジションインジケータランプの配線にブレーキ検出線(茶)を接続します

シフトをパーキング(P)の位置にしたとき12V、パーキング(P)以外で0Vまたはシフトをパーキング(P)の位置にしたとき0V、パーキング(P)以外で12Vに電圧が変化することを確認してください。

※接続先は、サーキットテスターで確認してください。



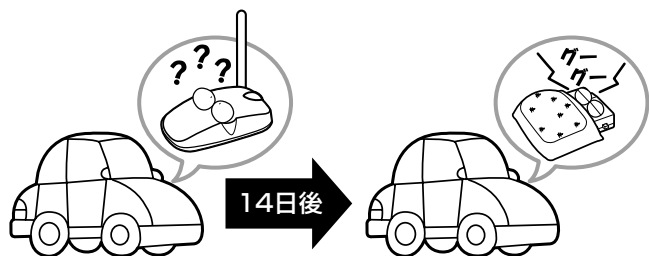
ジャンクションユニットのコネクター2にセンサーハーネスを接続し、『P・ポジション自動検出機能の確認』(20ページ)に戻ってP・ポジション検出を行ってください。

メモ

接続場所について詳しくは、弊社FAX情報サービスでご確認ください。

スリープ機能について

車を使用しない状態が14日間以上続くと、バッテリーの消耗を抑えるスリープ機能が働きます。スリープ機能が働くと、本機によるエンジン始動はできません。スリープ機能を解除するときは、1度キーを使ってエンジンを始動させてください。



本機を長期間使用しないときは、アンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットから外しておきます。

安全機能について

本機には、次の安全機能があります。

■ P・ポジション自動検出

シフトレバーがパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジション以外の場合は、エンジンの始動やターボタイマー機能の動作はできません。また、リモコンによる始動後、キーを差し込んだ状態で(ONポジションにキーを回さないまま)シフトチェンジすると、エンジンが停止します。



※一部の車輦では、P・ポジション自動検出のできないものや、できないものがあります。このような場合には、フットブレーキまたはP・ポジションインジケータランプへの接続が必要です。接続しないと、本機は動作しません。フットブレーキに接続した場合は、フットブレーキを踏むとエンジンが停止します。またP・ポジションインジケータランプに接続した場合には、シフトレバーがパーキング(P)の位置以外ではエンジンを始動できません。

■コンライトキャンセル機能

(別売のA-60を使用してコンライト信号線に接続した場合のみ)

オートライト機能搭載車でオートライト設定中でも、アイドリング終了後にライトを消灯させ、バッテリー上がりを防ぐことができます。

※一部の車輦において、コンライトキャンセル機能が正常に動かない場合があります。

■ドア検出

(別売のA-60使用してドアスイッチに接続した場合のみ)

エンジンスターター動作中ドアを開くとエンジンが停止します。(アフターアイドリング中は機能しません)

また、ドアが開いた状態でドアロック操作をした場合、リモコンの受信マークが赤く点滅し、『ピー』と鳴り、ドアが開いていることをお知らせします。

バッテリーについて

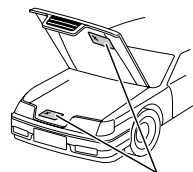
車のバッテリーの性能が低下しているときは、キーで始動させる場合に比べ、リモコンでのエンジン始動ができにくくなります。このようなときはバッテリーを充電するか、新しいものと交換してください。

メモ

- 寒冷地では、オルタネータ線を接続し、バッテリーも大型のものに交換することをおすすめします。
- 車のバッテリー交換を行った場合は再度P・ポジション自動検出機能の確認(20ページ)が必要です。

⚠警告

- 整備や車検などで、エンジン部を作業中に、突然エンジンが始動すると大変危険です。万一の事故を防ぐためにも、第三者に車を預けるときは、リモコンの電池を抜いておく、もしくはアンテナユニットの接続ケーブルをジャンクションユニットから外してください。
- 本機の取り付け後、安全のため、付属のステッカーを貼り付ける必要があります。「ご注意ステッカー(大)」は、エンジンルームを開けたときに、第三者にもわかるような目立つ場所に、「ご注意ステッカー(小)」はボンネットオープンやその付近の目立つ場所に貼り付けられていることを確認してください。



ご注意ステッカー(大)



ご注意ステッカー(小)

こんなときは

次ページに続く

エンジン始動関係

Q

リモコン操作でエンジンの始動や停止ができない。(送信マークが点灯する場合)

A

リモコンでのエンジンスタートができない場合は、以下の事項についてご確認ください。

受信マークが点灯しない

- キーでエンジンを始動していませんか?
- 電池が消耗していませんか?
- アンテナユニットの接続ケーブルが外れていませんか? 接続の確認をしてください。
- スリープ機能が働いていませんか? (22ページ参照)
- 車と離れすぎていませんか?
- パーキング(P)・ポジション自動検出ができていますか? (20ページ参照)
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか?

受信マークは点灯する

- シフトレバーがパーキング(P)になっていますか?
- 車のバッテリーが弱っていませんか?
- キー操作でエンジンが始動しますか?
- アンテナユニットが正しく設定されていますか? (7ページの工場出荷時の設定参照)
- それぞれのコネクターがジャンクションユニットにしっかり接続されていますか?

Q

気候が寒くなってきたら、エンジンがかからなくなった。

A

気温が低いと、エンジン自体のかかりが悪いため、セル時間を少しながめに設定してみましょう。(10ページ参照)

Q

エンジンはかかるがすぐ停止してしまう。

A

エンジンの始動検出ができていないためです。オルタネータ線を接続してください。

Q

アンテナユニットを操作していたら、エンジンがかからなくなりました。

A

エンジンスターターの設定が変更されてしまった可能性があります。取り付け販売店にご相談ください。(10、12ページ参照)

Q

リモコンのボタンを押しても、送信マークが点滅しない。

A

電池が消耗していませんか? 電池が正しく入っていますか? 電池の装着を誤った場合は、ショート状態により電池が消耗している可能性がありますので、新しい電池をご使用ください。

Q

リモコン操作できる距離が短い。

A

- リモコンのアンテナを伸ばさずに操作を行っていませんか?
- アンテナユニットのアンテナの近くに金属(ピラー)などがあると、通信距離が短くなります。金属部より5cm以上離れた場所に取り付けてください。
- リモコンのアンテナに手を触れていませんか?
- アンテナユニット(車)とリモコンの間に、障害物がありますか?
- チェーンやカギ、金属性アクセサリなどにより通信エラーを発生する場合があります。

Q

受信マークが点灯しない。

A

周囲の電波状況によっては、アンテナユニットの電波がリモコンに届かない場合があります。

Q

ドアロック、アンロックが動作しない。(別売キーレスエントリーA-17SFの接続をしている場合)

A

車によってはキーを使用してドアをロックした場合は、ドアをアンロック(解錠)できない場合があります。また、エンジンがかかっている状態でドアのロック、アンロックができない場合があります。

Q

ターボタイマーが働かない。

A

ターボタイマー機能はP・ポジション自動検出ができた場合、またはP・ポジションインジケータランプにブレーキ線を接続している場合でアンテナユニットのディップスイッチNo.3をONに設定しているときに使用できます。また、ターボタイマーの機能は、シフトレバーがパーキング(P)にセットされた時点から開始されますので、シフトレバーをパーキング(P)に入れる前に車のエンジンを切ったり、パーキング(P)のままアフターアイドリング時間が経過すると、ターボタイマー機能は動作しません。

Q

アフターアイドリング時間が短い。

A

ターボタイマー機能は、シフトレバーがドライブ(D)ポジションからパーキング(P)またはニュートラル(N)ポジションに入った時点から電氣的には開始されています。よって走行後、パーキングまたはニュートラルポジションからキーOFFまでの時間は、アフターアイドリング時間としてカウントされます。

リモコン操作関係

ドアロック機能関係

ターボタイマー機能関係

その他

Q

付属のブレーキ検出線、オルタネータ線は接続するの？

A

ブレーキ検出線は、P・ポジション自動検出ができた車には接続する必要はありません。(P・ポジション自動検出ができた車に接続すると、誤動作する場合があります) また、オルタネータ線は始動検出ができる場合は特に必要ありませんが、冬場など、寒い季節になると始動検出ができにくくなる車があります。

Q

車を使用する頻度が少なく、バッテリー上がりが心配。

A

14日以上、車の利用がないと、スリープ機能によってエンジンスターターの電流消費を抑えます。スリープ機能が働くと、リモコンでの操作ができません。キーを使用してACCにすると解除されます。

エラー音について

アンテナユニットが以下のようなブザー音を発しているときには、その処置方法に従って操作してください。
その他の処置方法が明記されていないエラー音につきましては、弊社サービス窓口またはエンジンスターター相談窓口にご相談ください。

本機は取り付け作業時およびエンジンスタート機能やターボタイマー機能が動作しない場合、本機のリモコンを使ってエンジンを始動させる操作をした後や、ターボタイマー機能未動作時にアンテナユニットから鳴る音(エラー音)により、不具合を起こしている場所がわかります。
本機の動作に不具合があったときは、この「エラー音」を確認して、取り付け店または弊社ご相談窓口にお問い合わせください。

エラー音	不具合の検出
ビビビッ	STリレー接点溶着時、接点溶着を検出したときのみ 接点溶着後にリモコンよりスタート信号を受信したとき
ビー　ビー　ピッピッピッ	エンスト検出
ビー　ビー　ビー	エンジン始動異常
ビー　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 P・ポジション検出
ビー　ピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ブレーキ検出
ビー　ピッピッピッピッ	エンジンスタータ動作中断時 ドア検出
ビー　ビー	エンジンスタータ動作中断時 電圧異常
ビー　ビー　ピッ	エンジンスタータ動作中断時 オルタネータ異常
ビビビッ　ピッ	ターボタイマー動作中断時 溶着検出
ビビビッ　ピッピッピッ	ドア制御中断時 ドア開検出

仕様

■リモコン

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備 (RCR STD-16)
送信周波数	429.2375MHz
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
使用電池	リチウム電池 CR2032×2
動作温度範囲	－10℃～＋50℃
寸法	32.5(W)×78.0(H)×18.3(D)mm (突起部含まず)
重量	37.3g(電池含む)

■アンテナユニット/ジャンクションユニット

適合技術基準	特定小電力無線局テレコントロール用無線設備 (RCR STD-16)
送信周波数	429.2375MHz
電波型式	F2D
送信出力	10mW
送信時間制御	送信時間：3秒以内 送信休止時間：2秒以上
電源電圧 (ジャンクションユニット)	12V車専用(DC9～16V)
消費電流	スリープ時：約7mA 待機時：約16mA(平均)
動作温度範囲	－20℃～＋80℃
寸法	アンテナユニット ：46.4(W)×21.0(H)×75.1(D)mm (突起部およびアンテナ部含まず) ジャンクションユニット ：138(W)×28(H)×63(D)mm
重量	アンテナユニット：68.5g ジャンクションユニット：126g

アフターサービスについて

■保証書(裏表紙参照)

保証書は、必ず「販売店名・お買い上げ年月日」などの記入をご確認のうえ、保証内容をよくお読みのと、大切に保管してください。

■保証期間

お買い上げの日から3年間です。

●対象部分

車載ユニット(リモコンは1年、電池等消耗部品を除く)が対象となります。

■修理を依頼されるとき

「こんなときは」の点検をしていただいても、なお異常のあるときは、故障状況をなるべく詳しくご連絡ください。

●保証期間中のとき

恐れ入りますが、お買い上げの販売店に、保証書を添えて製品をご持参ください。保証書の規定に従って修理いたします。

●保証期間が過ぎているとき

取り付け販売店に、まずご相談ください。修理によって機能が持続できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

■アフターサービスなどについてご不明な点は

お買い上げの販売店、または最寄りの弊社営業所・サービス部(下記の一覧表をご参照願います)にお問い合わせください。

■リモコンを紛失や破損したとき

リモコンを紛失や破損したときは、追加リモコンをお買い求めください。

「取り付け・接続説明書」や本書にしたがった、正常な取り付け・接続、使用状態で製品に故障が生じた場合は、製品の保証書にしたがって修理いたします。

また、本機取り付けによる車輛や車載品の故障、事故などの付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

<無料修理規定>

1. 表面記載の保証期間内に、取扱説明書等の注意書に従った正常なご使用状態で故障した場合には、無料修理いたします。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、機器本体および本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
3. ご転居ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理をご依頼できない場合には、最寄りの弊社営業所・サービス部へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
(イ)使用上の誤り、または不当な修理や改造による故障および損傷
(ロ)お買い上げ後の移動、落下等による故障及び損傷
(ハ)火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、指定外の使用電源(電圧、周波数)や異常電圧による故障及び損傷
(ニ)特殊な条件下等、通常以外の使用による故障および損傷
(ホ)故障の原因が本製品以外にある場合
(ヘ)本書のご提示がない場合
(ト)本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
(チ)付属品や消耗品等の消耗による交換
(リ)お客様のご要望により出張修理を行う場合の出張料金
5. 本書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
6. 本書は再発行しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

故障内容記入欄

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店または、最寄りの弊社営業所・サービス部にお問い合わせください。
※弊社営業所・サービス部は添付の一覧表をご覧ください。

ユピテルご相談窓口一覧

ご相談の受付時間は、月曜日～金曜日9：00～17：30です。
ただし土曜日、日曜日、祝祭日、振替休日および年末・年始等は受け付けいたしておりません。お問い合わせの際は、製品の機種名をご確認のうえ、使用状況もいっしょにご相談ください。

お客様ご相談センター TEL. (0564)45-6515

地 区	名称・電話番号・所在地
北海道	札幌営業所・サービス部 TEL. (011)618-7071 〒060-0008 北海道札幌市中央区北八条西18丁目35-100 エアリービル1F
青森・岩手・宮城・秋田・山形・福島	仙台営業所・サービス部 TEL. (022)284-2501 〒984-0015 宮城県仙台市若林区卸町4-8-6 第2喜和ビル1F
栃木・群馬・茨城・埼玉・千葉・東京・神奈川・山梨・長野・新潟・静岡(西部の一部地区を除く)	東京営業所・サービス部 TEL. (03)3769-2525 〒108-0023 東京都港区芝浦4-12-33 芝浦新本ビル3F
岐阜・愛知・三重・富山・石川・福井・静岡(西部の一部地区)	名古屋営業所・サービス部 TEL. (052)461-1281 〒453-0053 愛知県名古屋市中村区中村町6-5
滋賀・京都・大阪・兵庫・奈良・和歌山・徳島・香川・愛媛・高知	大阪営業所・サービス部 TEL. (06)6386-2555 〒564-0051 大阪府吹田市豊津町53-10
鳥取・島根・岡山・広島・山口	広島営業所・サービス部 TEL. (082)230-1711 〒733-0001 広島県広島市西区大芝2-9-2
福岡・佐賀・長崎・熊本・大分・宮崎・鹿児島・沖縄	福岡営業所・サービス部 TEL. (092)552-5351 〒815-0032 福岡県福岡市南区塩原3-2-19

●上記窓口の名称、電話番号、所在地は、都合により変更することがありますのでご了承ください。

●電話をおかけになる際は、市外番号などをお確かめのうえ、おかけ間違いのないようご注意ください。

※お車の買い替えなどで、車種別専用ハーネスを検索する場合や追加オプションに関する最新情報は、弊社ホームページまたは車種別専用ハーネス適応表でお確かめください。

- 弊社HPアドレス <http://www.yupiteru.co.jp/>
- i-mode専用サイト <http://www.yupiteru.co.jp/i/>

保証書

(持込修理)

本書は、本書記載内容(裏面記載)で、
無料修理を行うことを、お約束するもの
です。

保証期間中に、正常なご使用状態で、
故障が発生した場合には、本書をご提
示のうえ、お買い上げの販売店に修理
をご依頼ください。

品 番		VE-E133R (テレコントロールエンジンスターター)	
S/No.			
お買い上げ日			
保 証 期 間		お買い上げの日より3年 対象部分：搭載ユニット(リモコン)1年。消耗部品は除く。	
お 客 様	お名前		
	ご住所	〒	
販 売 店	店名・住所	TEL.()	
	上欄に記入または捺印の無い場合は、必ず販売店様発行の領収書など、お買い上げの年月日、店名等を証明するものを、お貼りください。		

無効